

〈施策評価シートの見方について〉

1. 基本項目

第五次羽村市長期総合計画後期基本計画の記載内容となっています。

2. 事後評価結果

「第五次羽村市長期総合計画後期基本計画実施計画（平成 31 年度版）」（以下、実施計画）に掲載されている 317 事業のうち、選定を行った 151 事業の評価内容が記載されています。

（ア）【計画事業名】 実施計画に示した事業名

（イ）【進捗状況】 事後評価シートの Do【実行】、『5. 実施結果』の内容が記載されています。

「計画どおり完了」・・・実施計画に記載された令和元年度の計画が、計画どおり完了しているもの。

「計画を見直し完了」及び

「次年度以降計画を見直す」・・・実施計画に記載された令和元年度の計画を、一部変更して完了したもの。また、次年度以降に計画を変更し実施することとしたもの。

「遅延」・・・実施計画に記載された令和元年度の計画が、計画どおり完了していないもの。

「中断」・・・実施計画に記載された令和元年度の計画を中断したもの。

（ウ）【妥当性（必要性）】、【効率性（手法）】、【有効性（成果）】

事後評価シートの Check【評価】、『6. 事業の評価』の内容が記載されています。

また、評価については、以下の視点において評価をしています。

「妥当性（必要性）」

- 上位施策（基本目標・施策）を達成するために必要な事業である。
- 今の社会情勢に見合う事業である。
- 利用者、対象者のニーズ（需要）がある。

「効率性（手法）」

- 最小の人件費・事業費で事務が執行されている。
- 民間活力を活用している。
- 業務の進め方や手続きを簡略化、簡素化している。

「有効性（成果）」

- 計画の事業量に達した。
- 計画の事業量に達しなかった。
- 計画以上の事業量を達成した。
- 事業の目標が達成された。
- 事業の効果が表れている。
- 施策の基本方針を推進するうえで具体的な成果があった。

【S】：より適切なもの・・・それぞれの項目において、平均を上回るような要素・成果があったもの。

【A】：適切なもの・・・それぞれの項目において、平均的な妥当性のある要素・成果があったもの。

【B】：課題があり、今後改善が必要なもの

・・・それぞれの項目において、事業量が目標に達していない、社会情勢やニーズにそぐわない部分が生じているなどの課題があるもの。

(エ) **【今後の方向性】** 評価結果に基づく、事後評価シートの Action【改善】、『8. 今後の方向性』の内容が記載されています。

「現状のまま継続」・・・今後も引き続き、継続していく事業。

「レベルアップ」・・・よりよい事業が展開されるよう事業内容のレベルアップ（改善又は見直し）を行い、今後も継続するもの。

「縮小」・・・社会情勢及び需要などの変化を鑑み、今後、縮小を検討するもの。

「実施主体の見直し」・・・事業を実施するうえで、主体となる部署・各種団体の見直しを行い、引き続き実施するもの。

「休止・廃止」・・・社会情勢及び需要などに対し、事業内容が見合っていないなどにより、休止・廃止を検討するもの。

「完了」・・・当初の目標・計画などを達成し完了したもの。

3. 施策評価の結果

施策ごとに掲げている基本方針の達成のため、各事業の事後評価結果を基に、施策評価結果を記載しています。